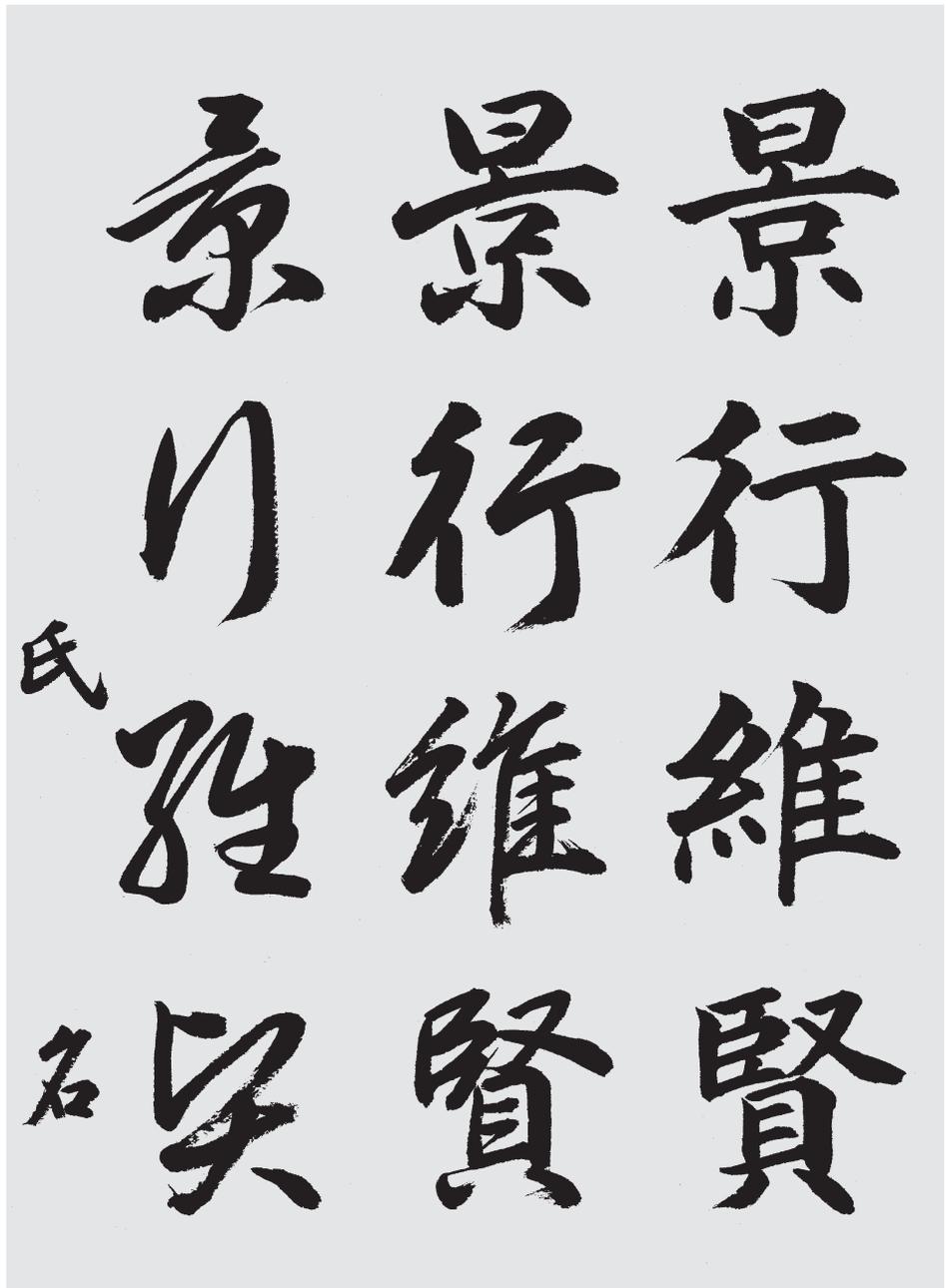


三体千字文を書く(51)

締切り 三月十九日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B5判に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、

憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

景行維賢

剋念作聖

よき行をする人は賢人である。

聖人の言行をよく思い、それにならって修養するのは聖賢人になる道である。

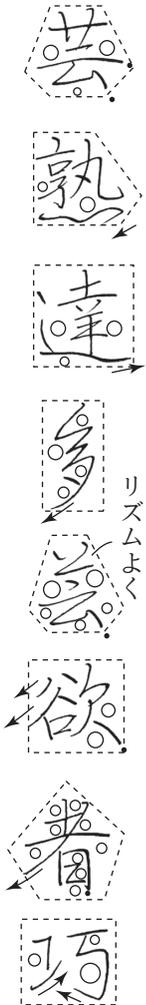
準初段から六段まで

新入から1級まで

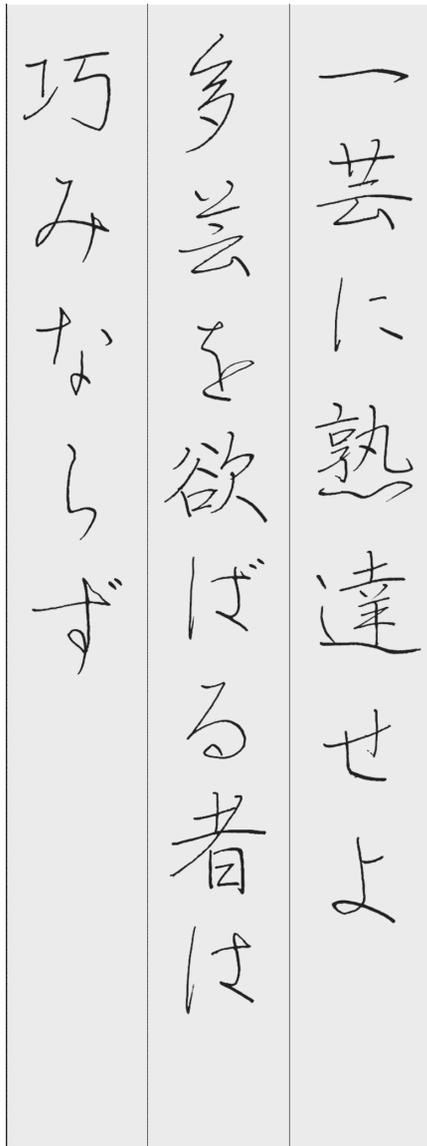
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕 一芸に熟達せよ 多芸を欲ばる者は 巧みならず



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。



尾郷翠光書

▷用具=自由 (黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



古田瑞苑書

▷用具=自由 (黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆4月課題予告 (楷書)
 名譽心は
 高潔なる心の
 最後の弱点である
 ▼教範・書範 行草または草書
 ▼師範 行書

★一芸に… (書体 行書)
 長宗我部元親 (一五三九〜一五九九)
 室町時代の武将
 当時、四国を制覇した元親の実利主義に根ざした言葉です。刀、槍、弓、馬など武士の心得るべき技は多いが、いくつもの技を身につけようとしても中途半端になってしまうので、一つの技に堪能な者の方が役に立つと言っています。
 器用貧乏という言葉がありますが、まさにそれと同じ意味をもつ言葉だと思います。

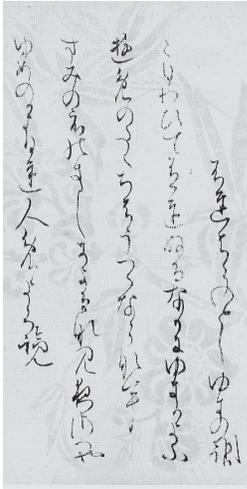
★第一の… (書体 楷書)
 エマソン (一八〇三〜一八八二)
 米国の詩人・思想家
 アメリカ独自の個人主義を唱え地方に隠棲して思索・著述に専念した彼は、八歳のとき父親を亡くし、苦勞を重ねました。
 個人の尊厳が何よりも大切であり、またその中でも健康が第一と説いた人でありますが、自らも長年著述に講演にと活躍し、事実七十九歳の生涯を全うしました。
 我々は書道を生涯学習の一つとして習っていますが、これも健康であってこそできることだと思います。
 ◆4月課題予告 (行書)
 子供には
 最も大きな
 可能性がある

締切り 三月十九日(必着)

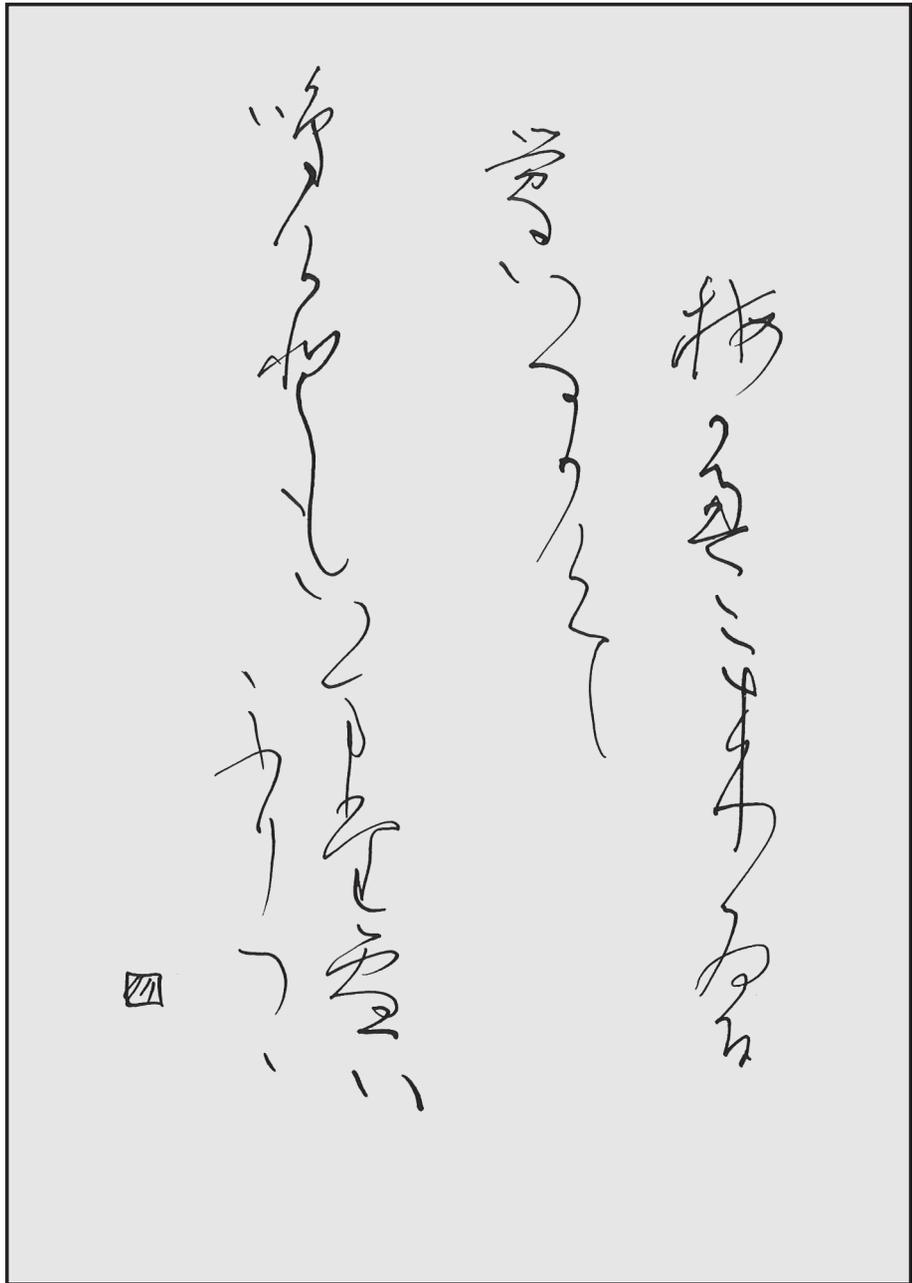
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

ほんあみきれ
本阿弥切



ふぢはらのとしゆきの朝臣
こひわびてうちぬるなかにゆきかよふ
ゆめのたぐちはうつゝならなむ
すみのえのきしによるなみ夜さへや
ゆめのかよひぢ人めよく覧

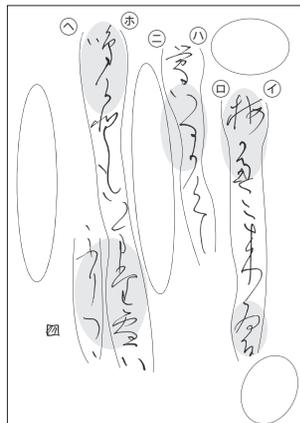


梅がえに來るる鶯春かけて
鳴けどもいまだ雪はふりつつ、

〔歌意〕梅の枝にやって来た鶯よ。おまえは春を待ちかねて鳴くけれど、まだ雪が降り続けている。

〔出典〕古今和歌集
(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、③と④、⑤と⑥、それぞれ呼応。
- 余白大切。
- 行の動き大切。
- 行の粗密大切。

◆ 4月課題予告

わが宿の池の藤波さきにけり
山郭公いつか来なかむ

締切り 3月19日(必着)

日の光り、雲のたたずまいにも
春近きが思われる今日この頃、
いかがお過ごしでしょうか、
花時は気候不順になり
がちです。くれぐれもお身体に
お気をつけくださいますよう。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

日の光り、雲のたたずまいにも
春近きが思われる今日この頃、
いかがお過ごしでしょうか、
花時は気候不順になり
がちです。くれぐれもお身体に
お気をつけくださいますよう。

横 書 き 課 題

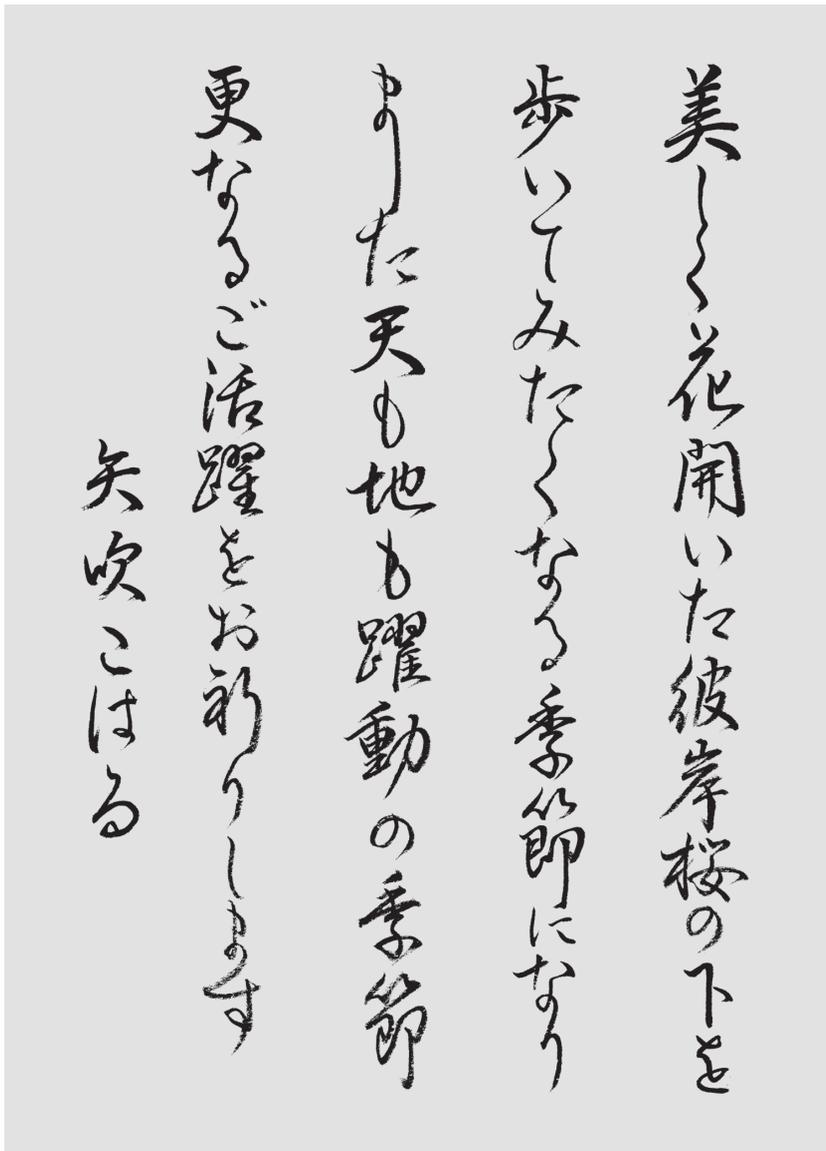
アルミニウムが使われ始めたのは
銅や鉄よりもずっと新しい。

東京都江戸川区 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

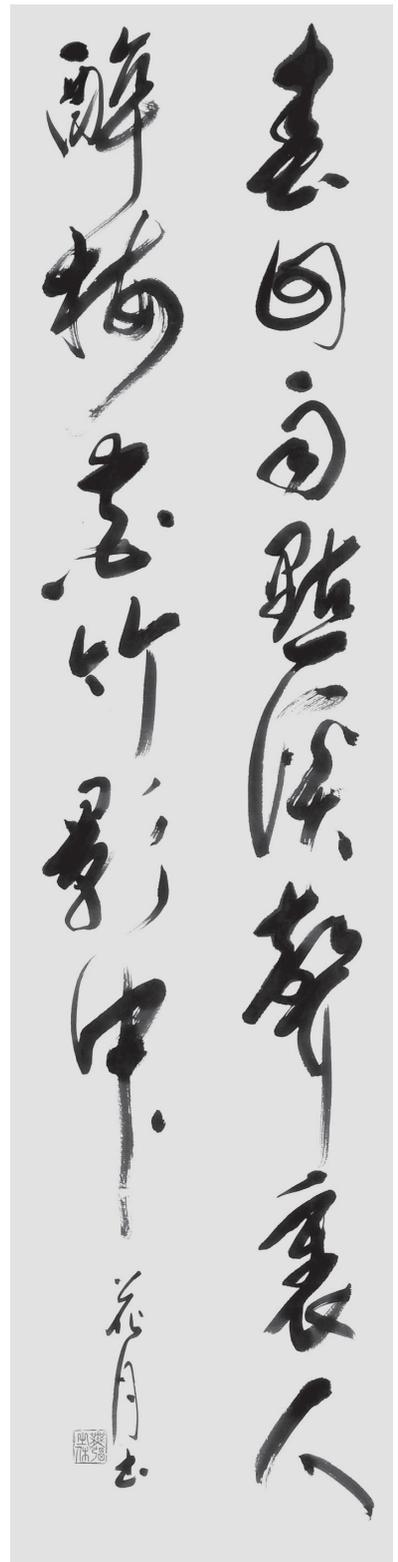
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書香梅藤伊



締切り 三月十九日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

新井龍峰書

春は雨点溪聲裏

人酔梅花竹影中

〔大意〕春はしとすと雨の降りそそぐ谷川の音の中から来た。人は梅咲き竹のそよぐ中で酒を酌む。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

春は雨点溪聲裏
人酔梅花竹影中

〔条幅解説〕

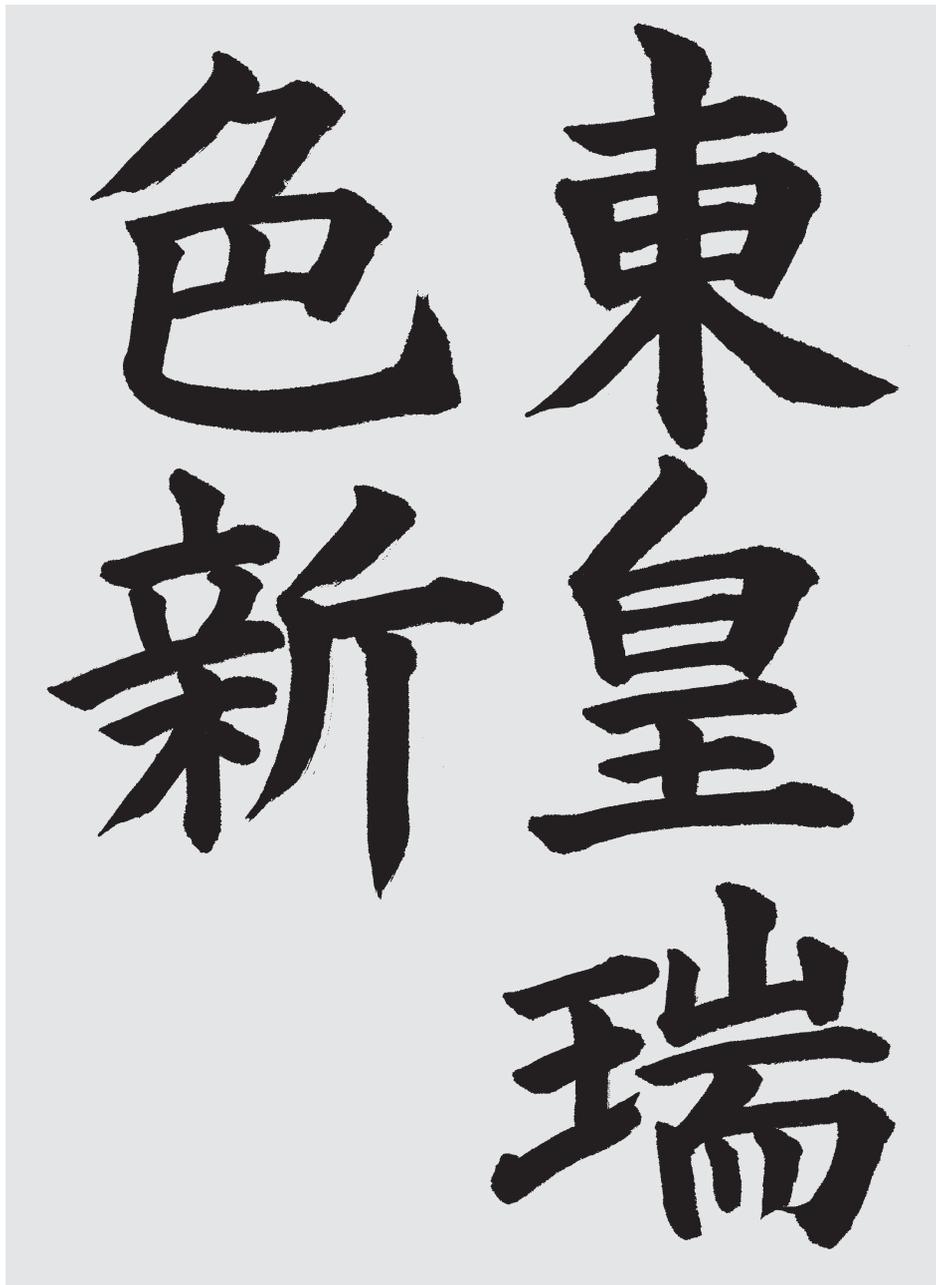
文字が大きくなるにつれ、長所も短所も拡大され一目瞭然となります。半切二行で十四文字であれば文字の配置、字形、線の変化等が、ごまかしの利かないものとなります。条幅を学習することによって行の流れ、墨つけ、筆先の開閉等をも身につくように粘り強く、継続してまいります。

美しく花開いた彼岸桜の下を
歩いてみたくなる季節になり
ました天も地も躍動の季節
更なるご活躍をお祈りします
(ご自分の氏名)
・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)



東皇瑞色新
とうこうすいしよくあらたなり

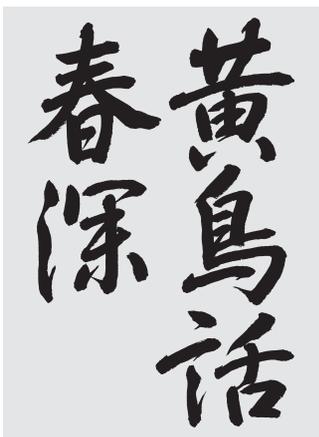
〔大意〕春となつてめでたい気が新たになった。又、東皇は春の神。

清水翠芳書

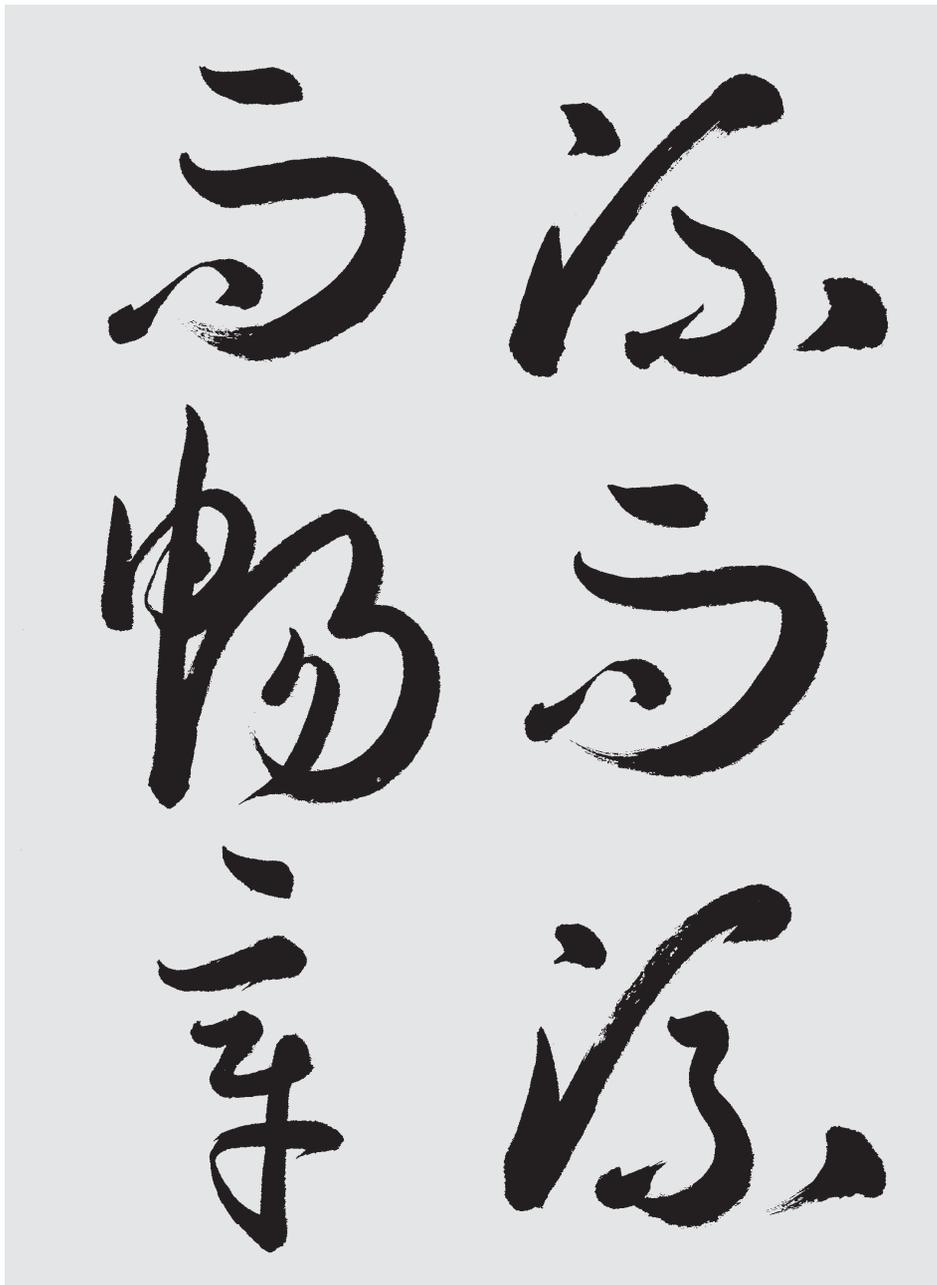
〔解説〕



◆4月課題予告(行書)



準初段から師範まで



須田 一葉 臨

流
而
流
而
暢
章

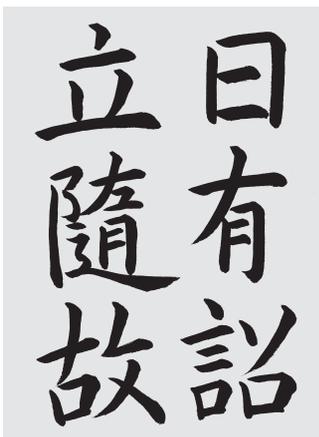


〔出典〕書譜(六八七)
 〔筆者〕孫過庭(六四八?~七〇三?)
 〔読み〕(草は)流にして暢なるを(貴ひ)章は(検にして)

〔解説〕

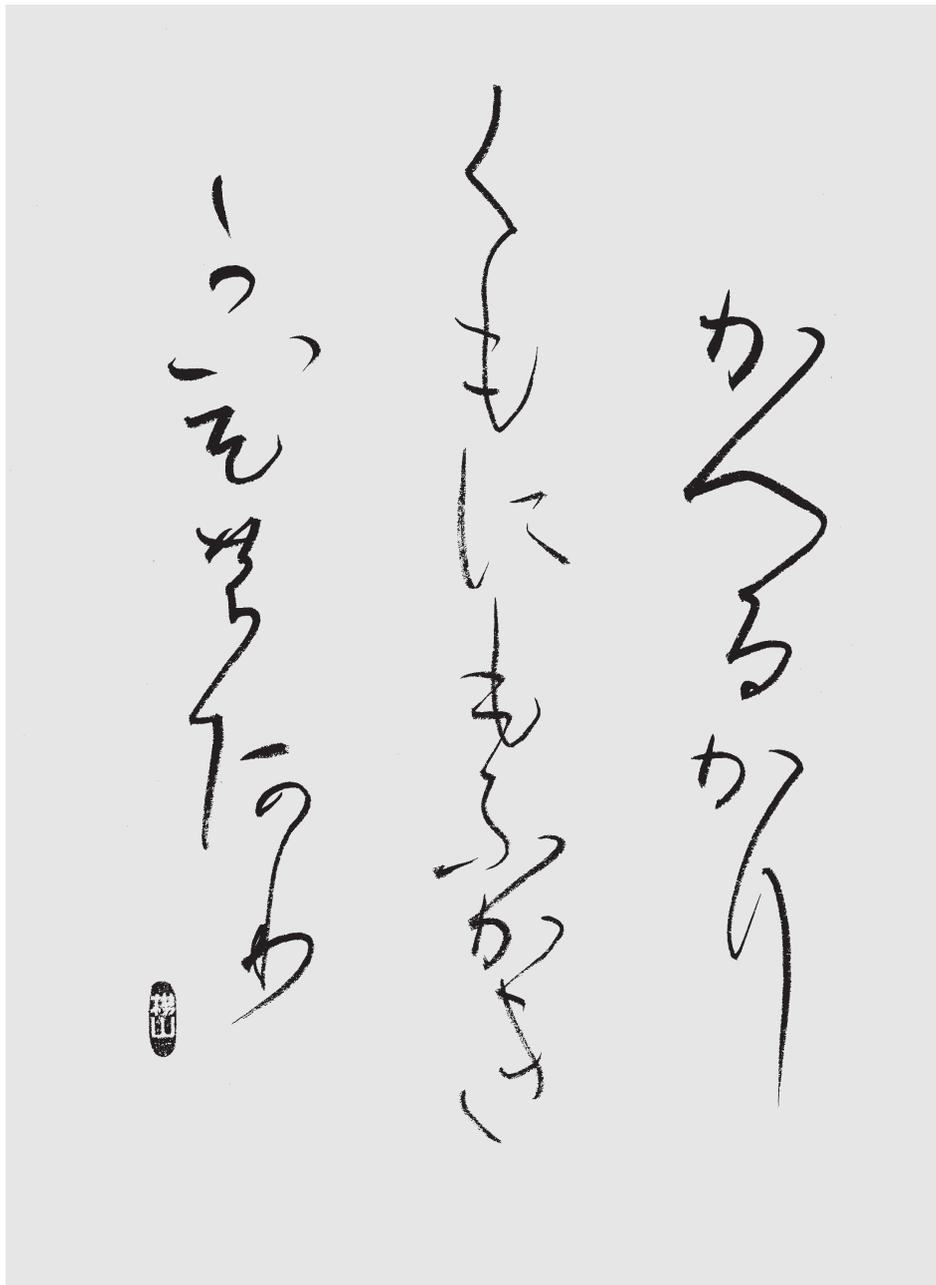


◆4月課題予告
 ※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



帰^{かへ}る雁^{かりくも}雲^もにも深^{ふか}き峡^{可飛農阿利}のあり

岡田貞峰

〔句意〕

北方へ帰る雁。じっと見送っていると、時折、雲間に隠れて見えなくなる。天上の深い峡に入ったのであろう、の意。雁との別れを惜しむ気持ち強い。

〔古筆参考〕

可^かろるるるる

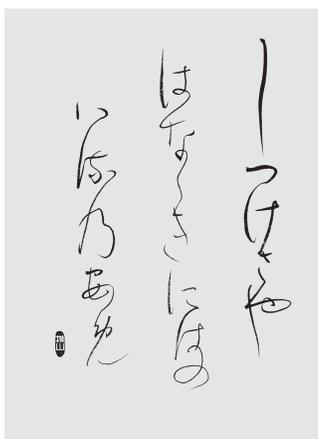
飛^ひたむか

農^のももももも

阿^あ阿阿阿阿

利^りああああ

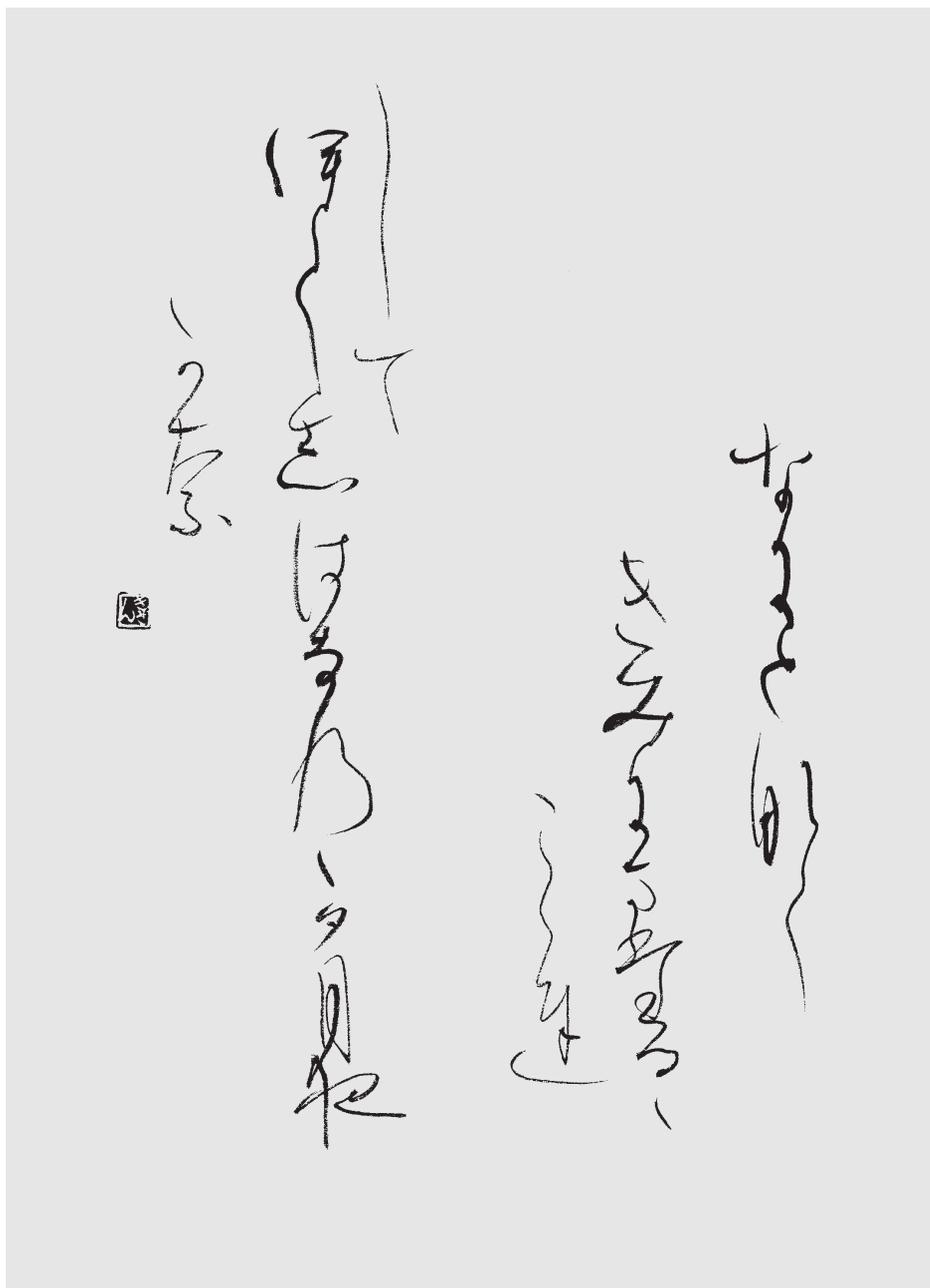
◆4月課題予告



静^{しづ}かなき庭^{はな}の春^{はる}の雨^{あめ}

準初段から師範まで

浅井機山先生書



なにとなく^{尔那}君^{きみ}に待^待たるる^待ここち^{可奈}して
出^{伊豆}でし^{志奈乃}花野^乃の夕月^乃夜^{可奈}かな
与謝野晶子^{よさのあきこ}

〔歌意〕 月明りの美しい宵に、私は草の花の咲き乱れた野へほればれと出て来た。なんだか恋人が私を此処で待つて居るような楽しい気分が出て来た。

〔古筆参考〕

尔に

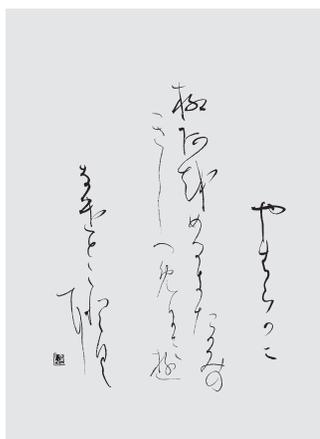
堂

遅

志

奈

可



◆4月課題予告

やはらかに柳^{やなぎ}あをめる北^{きた}上の^{がみ}
岸^{きし}辺^へ目^めに見^みゆ^な泣^なけと^{こと}く^{くに}

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

な	ゆ
き	り
れ	の
い	は

よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書

三 (サン)	ク
十 (ジュウ)	ラ
ニ	ス
人 (ニン)	は

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

ニ	ラ	わ
人	ス	た
い	は	し
ま	三	の
す	十	ク

小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

は	市
へ	の
つ	人
た	口

新入〜1級

口	な	子
は	く	ど
へ	市	も
つ	の	が
た	人	少

小二年
準初段以上

の	軽
そ	やか
よ	か
風	春

新入〜1級

風	な	外
と	春	は
太	の	軽
陽	そ	やか
が	よ	か

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

ナオオカガ折	お 一ニ千	セン
	ナ ナナ羽羽羽	ば
	マ	ツ
	ス	ル

新入〜1級

る	達	入
折	に	院
り	千	し
ま	羽	た
す	づ	友

小四年

準初段以上

小四年以上
前 岨 玉 華 書

日 甲 野 野 野	ヤ	む(れ)
	ヨ	い(きお)
	ウ	は(し)
	コ	ウ

解説 (よく見て習いましょう)

る	勢	群
広	い	れ
野	よ	を
の	く	な
馬	走	し

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

困	災
難	害
連	復
続	事

解説(よく見て習いましょう)

の	工	災
連	事	害
続	は	の
て	困	復
す	難	旧

小六年

(全頁)

を	手	生
占	相	年
い	て	月
ま	運	日
す	勢	や

中二・三年

(行書)

学	ら	代
校	受	々
の	け	先
伝	継	輩
統	ぐ	か

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 なが い や え こ 長 井 八重子 書



しめきり 3月19日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 よこ やま ゆう れん 横 山 友 漣 書

農	い	あ	と	春
園	ち	ま	て	休
に	ご	く	も	み
行	を	て	大	に
く	食	美	き	
	べ	味	く	
	に	し		
		い		



優	草	見	所	青
し	木	ら	々	空
い	が	れ	で	に
季	芽	足	梅	緑
節	吹	元	や	の
	く	に	桜	山
		は	が	



※美しい単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

◎お手本はつけペン使用

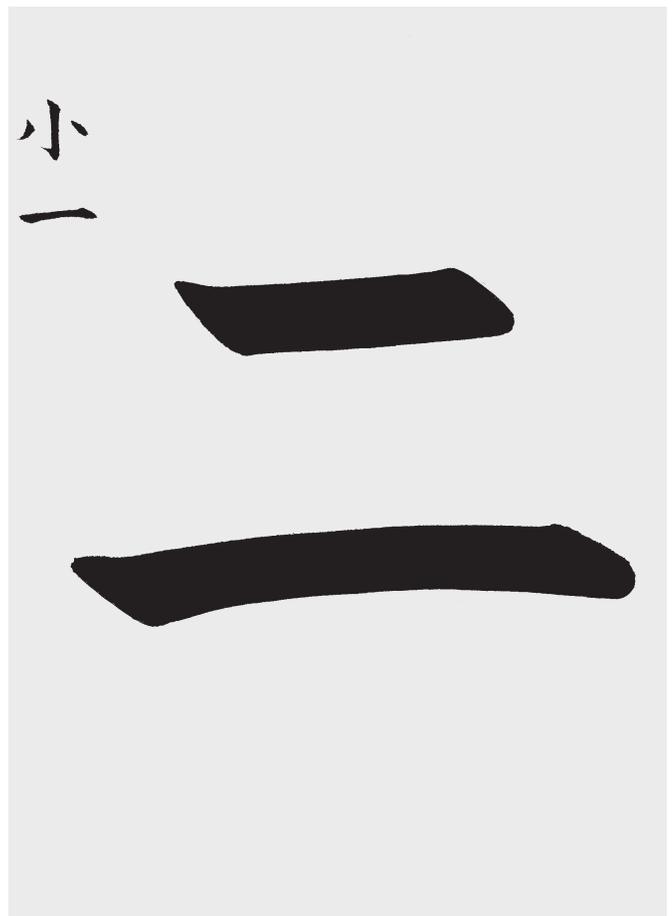
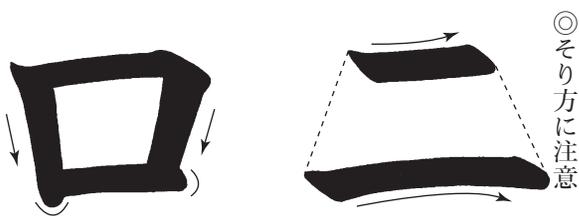
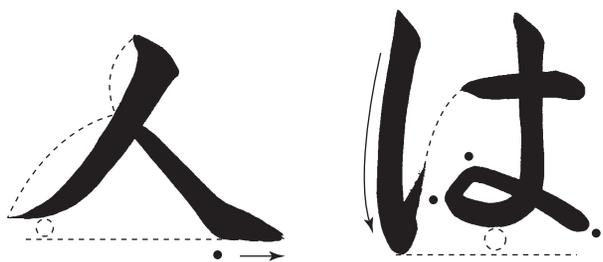
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
酒井智仔書



小五
 の 広
 馬 野

風 そ
 小三
 よ

羽

右側や大きく

野

馬

そ 風

千

長めに

小四
 づ 千
 る 羽

小三〜小五年

水野碧友書

中二・三

占う 運勢を

小六

復 工 復 旧 事

小六〜中二・三年

永谷恵子書

統

復

中一

学校の 伝統

運

事

勢

校

※行書では画のつながりに注意しよう。